

新しい人財育成に資する神栖市での 高校教育の充実について

村田康成

神栖市内には、神栖高校、波崎高校、波崎柳川高校の3つの県立高校がございます。一方で、市内の中学校から、この3校に進学する生徒は、全体の約800人のうちの半数ほどであります。

神栖市3校は子どもが少ないために定員割れしているのではない。神栖市は、子どもの割合が13%と県内市町村でも5番目に高い地域であります。

そのため、神栖市の3校については、定員割れしているからといって、生徒の県外などへの流出の課題が解消される前に、安易に学校の統廃合や学級減などを、議論の俎上に載せることのないように、改めて強く要望いたします。



教育に
地域格差が
あっては
ならない!!



※更に障害のある子ども達のために、
新たな特別支援学校の誘致が必要。

教育長

神栖高校では、発展的な学習を求める生徒のニーズに対応するため、2年生全員参加の英語研修に加え、昨年度からオンラインで予備校の授業を配信し、大学入試を見据えた実践力を養っております。

波崎高校では、生徒一人ひとりの進路希望に応じるため、令和元年度から、幅広い科目で進学に向けた課外授業を継続的に行い、国立大学の合格者を2年連続で輩出しております。

波崎柳川高校では、昨年度から他校に先駆け、年5回実施していた定期考査を廃止し、学力の定着の状況をその都度確認できる単元テストを実施するようにしたことで、生徒から「できなかったところをすぐに学び直せるので、とても良い」との声が寄せられております。

地域ごとの中学卒業生数の減少の度合いや県立高校のおかれている状況が異なることなどを勘案し、地域の意見に十分配慮してまいります。



知事

私は、知事就任以来、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、新たな発想で失敗を恐れず果敢に挑戦し、県総合計画に掲げた4つのチャレンジを推進してまいりました。

県民一人ひとりが幸せを実現できる環境の整備・充実状況を数値で把握するため、新たに県独自の「いばらき幸福度指標」を導入いたしました。

議員ご指摘のとおり、今年3月に発表した幸福度指標の順位では、安心安全が全国第38位となっており、地域医療分野のほか、犯罪防止分野の課題が明確になったことから、今後重点的な対策が必要であると受け止めております。

具体的には、更なる医師確保に向け、将来、確実に地域医療を担っていただく医師を養成するため、本年度に地域枠を全国トップクラスとなる9大学の合計61名まで増員したところでありますが、来年度、更なる新增設が認められる見込みであり、今後も拡充を図ってまいります。



一般質問後に知事と、神栖市と茨城県の未来に向けた意見交換

いばらき幸福度指標を
活用した
「新しい茨城」への
挑戦について



大井川知事
村田やすなりさんに期待します!!

村田康成

「いばらき幸福度指標」は、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現、という知事の壮大な目標に向けた、本県の通知表として、「豊かさ、安心安全、人財育成、夢・希望」というチャレンジ別に分けて、県民の幸福を数値として見える化したものであります。

県が、考える県民の幸せは、「県民、一人ひとりが、未来に希望を持つことができ、自身の、なりたい自分像に向かって、一歩でも二歩でも近づいていけるよう、挑戦を続けられること」と定義しております。

私は、県民の皆様の幸せとは、「安心安全」のうえに成り立つものであると考えております。

村田康成県政活動報告 VOL.4

村田康成事務所 〒314-0408 茨城県神栖市波崎1251 TEL:0479-21-9331 FAX:0479-21-9332



令和4年第3回定例会一般質問

神栖市 HOMEがHOPEであふれるように!



1977年8月20日生まれO型
2012年 神栖市議会議員初当選
2016年 神栖市議会議員二期当選
2016年 神栖市議会都市環境委員会 委員長
2018年 鹿行広域事務組合議会 議長
2018年 茨城県議会議員初当選

Profile

今回の一般質問では、県総合計画において導入された「いばらき幸福度指標」と、計画の4つのチャレンジの柱である「新しい豊かさ」、「新しい安心安全」、「新しい人財育成」、「新しい夢・希望」の項目それぞれに関連した質問をしてまいりました。皆様のご意見などを、ぜひお寄せください。

「神栖」の
希望を作るために
これからも一生懸命
活動していきます

定例会における村田やすなりの一般質問

- 新しい豊かさを目指す産業の充実
- 新しい安心安全を確保する医療と防災の強化
- 新しい夢・希望に向けた道路整備
- 新しい人財育成に資する神栖市での高校教育の充実
- いばらき幸福度指標を活用した「新しい茨城」への挑戦



SNSにて情報発信中!!



公式ホームページからは
議会での一般質問の様子もご覧いただけます!



新しい豊かさを目指す産業の充実について

村田やすなりの産業振興への提言その① 鹿島臨海工業地帯におけるカーボンニュートラルの取組



鹿島臨海工業地帯の
新たなビジョンのためには
大変革が必要だ!!



村田康成
鹿島臨海工業地帯が、今後も本県の産業を牽引していくためには、**カーボンニュートラル工業地帯への、大変革**が今まさに必要であります。昨年度、補正予算で、200億円の「カーボンニュートラル産業拠点創出推進基金」を設立したところであり、今後、企業には、こういった資金を呼び水として、巨額の投資をしていただかなければなりません。県では、このプロジェクトを、最終的には、国家プロジェクトへ昇華するとの大変力強い目標を掲げております。鹿島臨海工業地帯が、**新たなエネルギー拠点**となりうる優位性を県内外に示し、カーボンニュートラル先進地域を目指して頂きたいと思っております。

政策企画部長
県におきましては、昨年、「いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出推進協議会」を設置するなど産学官の連携強化を図るとともに、本県臨海部での取組が**国家プロジェクトへ昇華**されるよう、積極的に提案を行うとともに、緊密な連携を図っているところでございます。鹿島コンビナートの競争力を将来にわたって確保するためには、大規模な設備投資が避けられないこのタイミングにおいては、1件でも多くの投資を呼び込む必要があると考えております。県におきましては、高い危機感を持って、鹿島臨海工業地帯における**カーボンニュートラルの取組を全力で進めてまいります。**

村田やすなりの産業振興への提言その② 農業先進県・茨城を担う農業者への支援

村田康成
(神栖市の)農業者の皆様が、農産物の生産に専念できる環境を整えるためには、何が必要であると考え、それを踏まえて、農業先進県を維持するために、今後どのように支援していくのか、農林水産部長にお伺いたします。



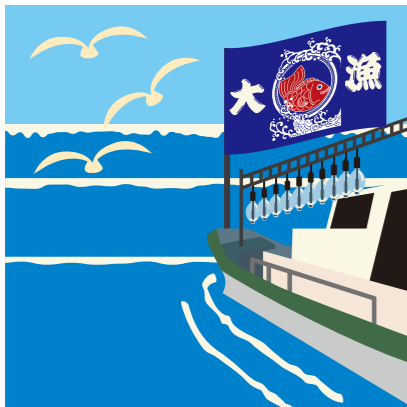
日本一の
ピーマン産地を
守るぞ!!

農林水産部長
燃油価格の状況が今後も不透明であることから、国では、令和4年度から、本対策による補填金の上限額を引き上げるとともに、農業者の積立金の分割払いを可能とするなど、弾力的な対応を実施しており、県としましても、こうした支援内容の周知を進め、一層の加入促進を図ってまいります。県では農業者に対し、**書類作成などが過度な負担とならないよう、普及センター等が中心となって相談に応じるなどの対応**を行っており、引き続き、**農業者に寄り添った支援を実施してまいります。**



村田康成の産業振興への提言その③ 波崎漁港の整備と水産業の振興

村田康成
神栖市の中でも、この地域(波崎東部地区)だけは、特に、少子高齢化が進んでおり、大潮祭の子供神輿も年々、数を減らします。未来永劫、手子后神社の大潮祭を継承していくためにも、波崎では水産漁業が発展を続けていかなければなりません。



神栖市波崎の漁業を振興するためには、波崎漁港で現在進む、後背地の整備を推進するとともに、そこで水揚げされる魚が、お隣千葉県の銚子ブランドに負けない「**波崎ブランド**」に確立されることが重要であります。

農林水産部長
波崎の水産業の更なる振興を図り、少子高齢化が進む地域に若い活力を取り戻すためには、波崎漁港の利便性を高め、銚子ブランドに負けない波崎ブランドを確立することが重要な課題であると認識しております。**漁港後背地**において、大規模水産加工場の建設を可能とする大区画用地の造成を実施するとともに、道路・水道等の必要な**インフラ整備を実施**しており、造成が完了いたしました。全国的に「水産のまち」波崎の知名度を高め、漁業者と水産加工業者がともに発展できるよう、神栖市波崎の水産業の振興を図ってまいります。

港づくりは、まちづくり!!



新しい安心安全を確保する医療と防災の強化について

地域医療の
改善が
神栖にとつて
最優先課題!!



村田やすなりの安心安全への提言その① 本県及び鹿行医療圏における医療政策

村田康成
神栖済生会病院の再編計画は、県主導で行って頂いたものと認識しております。新聞報道でも現在の円安・物価高を背景とした資材高騰により、計画の進捗が懸念されるとの話も聞き及んでおります。鹿行医療圏の医療崩壊を防ぐために、主導的に、この計画を進めてきた県には、責任を持って事業を完遂していただきますよう強く要望いたします。

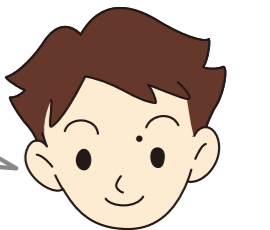
保健医療部長
神栖済生会病院の再編整備につきましては、235床に増床する第1段階の基本設計が本年5月に完了したところですが、病院側から、実施設計の着手時期は、コロナの長期化やウクライナ危機、急激な円安等を背景とした建設資材価格の高騰などの動向を注視しながら検討すると伺っております。鹿島労災病院との統合の段階から積極的に関与しており、この難局を乗り越えて、適切な時期に新病院が整備できるよう、神栖市とも連携を図りながら、引き続き、必要な支援に全力で取り組んでまいります。



村田やすなりの安心安全への提言その② 国土強靱化の更なる推進

村田康成
安心・安全の為のインフラ分野への、思い切った公共投資には、施設の老朽化対策や、防災対策の観点のみならず、雇用の増加や消費の拡大による、地域経済の活性化や、**景気回復の効果も期待**できるはずで。神栖市内では国土強靱化が進み、**利根川下流域**において、国による堤防の整備が求められるところであります。また、鹿島港においては**堤防の高上げ**が進められており、津波や高潮に対する防災力の強化が図られております。さらに、神栖市内の県・管理道路に関わる**冠水箇所の対策**が進み、豪雨災害に対しても必要な取組が推進されております。その手を緩めることなく、残る工区の整備を推進していただきたいと思っております。

土木部長
4箇所で堤防の新設や高上げを進めてきており、特に被害が大きかった、**南公共埠頭地区**など3箇所の整備が完了しております。残る日川浜地区につきましては、堤防の高上げを実施する延長が約7キロメートルと長いことから、整備に期間を要しておりますが、石油貯蔵タンクや火力発電所などの鹿島臨海工業地帯の要となるインフラが立地する重要な地区であることから、早期完了に向けて整備を進めてまいります。**国道124号の矢田部地区**につきましては、約400メートル区間の排水整備を実施し、令和2年度に完了いたしました。**国道124号の平泉地区**につきましても、排水整備等の工事を実施してきており、引き続き、早期完了に向けて工事を進めてまいります。**国道124号の太田地区並びに県道深芝浜波崎線の波崎地区**の2箇所につきましては、市の排水計画の見直し完了後、市と協議しながら排水設計を進めてまいります。



これまでの
取り組みの成果と
今後の課題です!!



新しい夢・希望に向けた道路整備について

村田やすなりの夢・希望への提言 東関東自動車道水戸線、及び潮来インターチェンジと神栖市間の交通整備の促進

村田康成
今後の鹿島港が、「カーボンニュートラル産業」の拠点として生まれ変わる必要があることを考えても、将来的な再生エネルギーのサプライチェーンの構築にとって、県内外と連携するための交通インフラの充実が大変重要であります。潮来インターチェンジと神栖市間の移動時間の短縮も重要で、**企業の物流ニーズ**に応えるとともに、地域住民の皆様の交通格差の解決のため、市内の渋滞解消を含めた更なる対策が必要であります。

産業促進のための
戦略的なインフラ整備と併せて
地域住民の交通課題の
解決が重要だ!!



土木部長
鹿行南部地域の発展を図るため、国、県、関係市及び東日本高速道路株式会社により構成される「(仮称)鹿行南部道路検討委員会」が本年1月に設立され、鹿行南部地域における道路構想の具体化に向けた基本方針の検討が始まったところであり、県としても、この調査・検討に積極的に協力してまいります。県といたしましては、引き続き、関係機関と連携し、潮来インターチェンジと神栖市間の円滑な交通が確保できるよう取り組んでまいります。